

ジオパーク & あしうわ だより



Vol. 25

海の道 黒潮が運ぶもの

2025年6月下旬、黒潮が臼磔に接岸しました。長らく蛇行を続けていた黒潮が接岸したとの報を受け、6月20日に専門員が早速見に行きました。岩礁のすぐそばを通る速い流れが岩礁にぶつかり白波が立っているのがわかりました。臼磔の地名の由来は、沖臼と呼ばれる磔（岩礁）にぶつかった黒潮が渦を巻くからだとか。

遠く南方のフィリピン付近から北上してくる黒潮は、私たちの地域に様々な恵みをもたらしています。土佐清水が漁業の街・海の街として発展してきたのは、黒潮と大地の出会いが生んだ好漁場のおかげ。黒潮が足摺岬沖の瀬にぶつかり、海の底の栄養塩が巻き上がり、プランクトンが育ちます。そこへ黒潮に乗って魚たちがやってきてプランクトンを食べることで立派に育った魚が豊富にとれる好漁場になるのです。

黒潮は魚などの生き物だけでなく、人や文化も運びます。土佐清水は古くから海路を通じた他地域との交流の中で発展してきました。たとえば、土佐清水市の特産品である宗田節。江戸期に紀州印南（現在の和歌山県印南町）の漁民が伝えたカツオ漁と節作りの技術が受け継がれたものです。一方、中浜出身のジョン万

次郎は黒潮に流され漂流したことがきっかけで幕末に活躍する偉人となりました。

生き物、人、文化など様々なものを運び、海を隔てた地域と地域をつなぐ黒潮。10月から、うみのわでは黒潮沿いのジオパーク地域と協力して、黒潮が運ぶ生き物や人、文化の交流をテーマとした巡回展を行います。9月の展示のテーマであるウミガメも、黒潮と縁の深い生き物です。

私たちの地域とは切っても切れない関係の黒潮について、この秋にもっと学んでみませんか？



▲ 臼磔に接岸した黒潮（2025年6月20日撮影）
流れの速い黒潮が岩礁にぶつかり白波が立っている

黒潮をもっと知る！うみのわ 秋のイベント情報

第31回自然ふれあい行事 うみがめのフシギ

場所 竜串ビジターセンターうみのわ

日時 9月13日(土) 13:00~14:30



13:00~ うみのわでお話しと幼ガメの観察

14:00~ SATOUMI水族館うみがめ水槽前でお話し&餌やり

14:30 アンケート記入後解散（そのあと水族館を自由見学できます）

要予約 詳細はこちらから.....>
または
お電話
0880-87-9500 まで

9月14日(日)~10月8日(水)の期間はうみのわにてアカウミガメの幼体3匹を飼育展示！

合同企画展 ジオパークでえがく黒潮の道

関連イベント開催！
詳細は次号で！

場所 竜串ビジターセンターうみのわ

期間 10月1日(水)~11月30日(日)



主催 室戸ジオパーク推進協議会
一般社団法人美しい伊豆創造センター
南紀熊野ジオパーク推進協議会

共催 一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会

後援 特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク

発行

一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@tosashimizu-geo.jp

web

